

数式処理(演習：2)

Copyright ©2006 by Shigeto R. Nishitani

例題：1次変換と直線

行列 $A = \begin{bmatrix} a & 3 \\ 4 & b \end{bmatrix}$ の表わす1次変換 f によって、直線 $2x-y-2=0$ が直線 $3x-4y+10=0$ に移されるととき、 a, b の値を求めよ。

解答例

```
> restart;with(LinearAlgebra):  
A:=Matrix(2,2,[[a,3],[4,b]]);
```

$$A := \begin{bmatrix} a & 3 \\ 4 & b \end{bmatrix} \quad (1.1.1.1)$$

直線 $2x-y-2=0$ 上の点を媒介変数 t を用いて表わす。

```
> X:=Vector([t,2*t-2]);
```

$$X := \begin{bmatrix} t \\ 2t-2 \end{bmatrix} \quad (1.1.1.2)$$

行列によって変換された後の点 (x',y') は、

```
> (A.X);
```

$$\begin{bmatrix} at+6t-6 \\ 4t+b(2t-2) \end{bmatrix} \quad (1.1.1.3)$$

この点が直線 $3x-4y+10=0$ 上にあるから、先程求めた、 (x',y') を代入する。

```
> Eq1:=3*(A.X)[1]-4*(A.X)[2]+10=0;
```

$$Eq1 := 3at+2t-8-4b(2t-2) = 0 \quad (1.1.1.4)$$

t について整理すると、

```
> collect(Eq1,t);
```

$$(3a+2-8b)t-8+8b=0 \quad (1.1.1.5)$$

これが t によらずに成立するためには、恒等式でなければならない。 t の0、1次の係数を取り出す。

```
> Eq2:={coeff(lhs(Eq1),t,1)=0,  
coeff(lhs(Eq1),t,0)=0};
```

$$Eq2 := \{3a+2-8b=0, -8+8b=0\} \quad (1.1.1.6)$$

a, b について解く。

```
> solve(Eq2,{a,b});
```

$$\{b=1, a=2\} \quad (1.1.1.7)$$

課題

行列 $A = \begin{bmatrix} 2 & 3 \\ 4 & 1 \end{bmatrix}$ の表わす1次変換 f によって、自分自身に移る直線の方程式を求めよ。

課題：行列の対角化

1 $A = \begin{bmatrix} 1 & 2 \\ -1 & 4 \end{bmatrix}$ の固有値を求めよ。

2 固有ベクトルで作られる行列を P とおくと、 $P^{-1}AP$ を求めよ。

3 A^n (n は自然数) を求めよ。

例題：行列のスペクトル分解

一般に、2次の正方行列 A が異なる2つの固有値 a, b を持つとき、

$$aP + bQ = A, P + Q = E$$

を満たす行列 P, Q に対して、次の事が成り立つ。

(1) $PQ = QP = 0,$

(2) $P^2 = P,$

(3) $Q^2 = Q$

上のように行列を分解することをスペクトル分解という。

また、 $A^n = (aP + bQ)^n = a^n P + b^n Q$

となる。

$A = \begin{bmatrix} 4 & 2 \\ 1 & 3 \end{bmatrix}$ に対して、行列 P, Q を求めよ。

解答例

行列のまま変形するのが難しそうなので解答例を示す。みそは、「初めは、未知変数とみなして連立方程式を解いておいて、後から、行列要素を入れる(subs)

.」

```
> restart;  
with(LinearAlgebra):  
A:=Matrix(2,2,[[4,2],[1,3]]);
```

$$A := \begin{bmatrix} 4 & 2 \\ 1 & 3 \end{bmatrix} \quad (1.3.1.1)$$

```
> I,V:=Eigenvectors(A);
```

$$I, V := \begin{bmatrix} 2 \\ 5 \end{bmatrix}, \begin{bmatrix} -1 & 2 \\ 1 & 1 \end{bmatrix} \quad (1.3.1.2)$$

```
> s1:=solve([I[1]*P+I[2]*Q=AA,P+Q=EE],[P,Q]);
```

$$s1 := \left\{ P = \frac{5}{3} EE - \frac{1}{3} AA, Q = -\frac{2}{3} EE + \frac{1}{3} AA \right\} \quad (1.3.1.3)$$

```
> E:=Matrix(2,2,shape=identity);
```

P:=simplify(subs((EE=E,AA=A),rhs(s1[1])));

$$E := \begin{bmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{bmatrix}$$
$$P := \begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 3 & -3 \\ 1 & 2 \\ -3 & 3 \end{bmatrix}$$

(1.3.1.4)

以下略

▼ 課題

$A = \begin{bmatrix} 4 & 2 \\ 1 & 3 \end{bmatrix}$ に対して、スペクトル分解した行列 P, Q を求めよ。
また、 $PQ = QP = 0, P^n = P, Q^n = Q$ が成り立つことを確かめよ。
さらに A の逆行列を $cP + dQ$ と表わしたとき、実数 c, d を求めよ。

▼ 課題：微分

2曲線 $y = x^3 - 2x + 1, y = x^2 + 2ax + 1$ が接するとき、 a の値を求めよ。また、その接点における共通の接線の方程式を求めよ。

▼ 課題：積分

関数 $f(x)$ が $f(x) = 2x + \int_0^1 (x+t)f(t) dt$ を満たすとき、 $f(x)$ を求めよ。